

2024年度 ザンビア丸森プロジェクト報告会資料

~小学生とザンビア農業研修生との
交流活動報告~

本日の流れ

1 きっかけ

2 活動内容

(1) 2022年度

(2) 2023年度

3 成果と課題

4 今後に向けて

1 きっかけ

なぜ、ザンビア？

(1)丸森町の耕野地区が農業技術の指導で支援

食の根幹である農業で国を支える知識・技術をシェアしたい

⇒ 生産から加工まで



行って教え、来てもらって(一か月滞在)学ぶ

農業技術支援

滞在期間が長く、触れ合うチャンスがある

(2) 丸森町に観光で訪れる外国人が少ない

外国人と英語で話す機会がほとんどない

⇒いつ どこで使うの？



英語学習の **長期的な意義** が見いだせない



毎年来る外国人を活用させてもらいたい！

(3) 宮城県内の高齢化率で丸森町は第2位！

労働力人口の低下

⇒丸森町に住み、働く外国人100名以上



外国から来た人と 仲良く暮らす 必要性

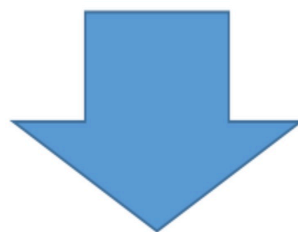


郷に入っては郷に従え？ OR 相互理解？

相互理解・・・なぜ？

相手の文化や習慣の
違いを理解する

共生のための
スキルを身に付ける



誤解・先入観などによる衝突を乗り越える

2 活動内容

(1) 2022年度 交流活動Ⅰ

ザンビア人 7名

JICA職員 高島さん

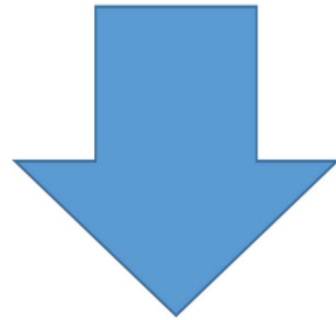
丸森町地域おこし協力隊 宮原さん

対象児童：3年生（2022年当時）

どんなことをしたらいいのかな？①

公用語が英語 → 英語を使ってみよう。

話せる英語はほんの少しだけど、**Let's Try !**



授業で学習した挨拶と名前を言ってみよう

どんなことをしたらいいのかな？②

言葉が通じない ⇒ 世界に共通なもの ⇒ 音楽と遊び

せっかくだから**日本の音楽**と**遊び**？

「茶摘み」 → 事前に歌詞を送り練習してもらい
当日一緒にやってみよう

遊 び → グループに分かれて、準備練習
使う英語は **“Let’s try!”**
“Like this.” だけ

日本の遊び体験・・・竹とんぼ・お手玉

日本の遊び体験…お手玉・輪投げ・折り紙

結果・・・

- ① 英語を話すのは恥ずかしかったけれど、**外国の人に言えた。**
- ② 茶摘みは、歌詞も手の動きも**複雑で難しすぎた。**
- ③ 日本の遊びには**興味を持ってもらえた。**
が、最後は児童が**自分たちだけで楽しんでしまった。**
- ④ 「ザンビア」が**身近に感じる**ようになった
→3月の**ザンフェス**に保護者を伴って来場した児童がいた。

(2) 2023年度 交流活動Ⅱ

ザンビア人 4名

JICA職員 高島さん

丸森町地域おこし協力隊 宮原さん

対象児童 3年生・4年生

(2023年当時)

今回はどんなことをしようかな？

- ①経験を生かす……自分たちが経験したり考えたり調べたりしたことを3年生に伝えよう。
- ②英会話体験……英語は、去年より少し長く話してみよう。
- ③日本の遊び体験…簡単な遊び歌でみんなで大きく動いてみよう

①経験を生かす…4年生が3年生へレクチャー
「ザンビアとは」

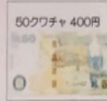
②ザンビア人との「英会話体験」

③日本の遊び体験「なべなべなべそこぬけ」

お返しにザンビアの遊びを教えてください



世界の国、いくつ知ってる？



こんにちは
元気ですか！

元気です！

むりしゃーに
Muli shaani?

ぶういーの
Bwino!

ありがとう！

なとてら！
Natoteia!

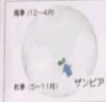
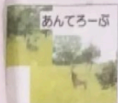


写真 (12-40)
写真 (5-11) ザンビア

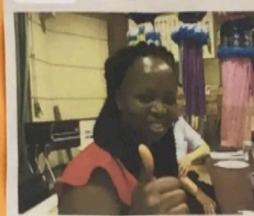
Welcome to TATEYAMA Ele

ようこそ 越前小学

ナワさん



シーラさん



結果・・・

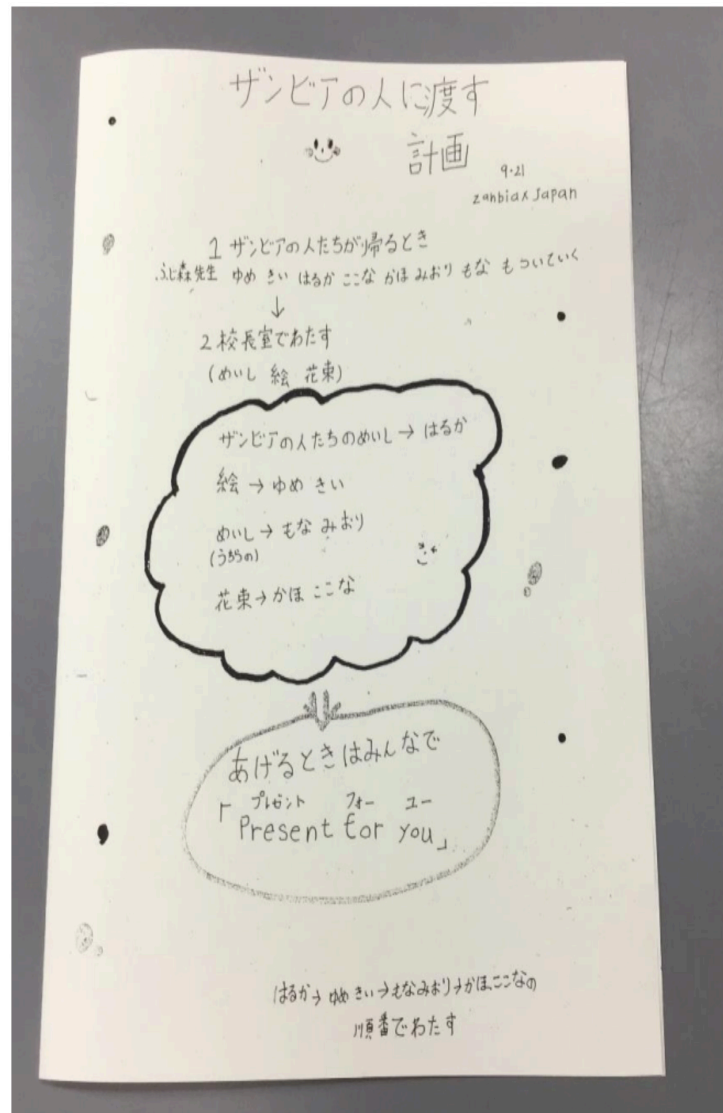
○補助を受けた場面もあったけれど、去年よりも英語が話せた。

○みんなが「なべなべそこぬけ」で盛り上がった。今年のあそび歌は大成功。

○お返しにザンビア版「ハンカチ落とし」を教えてもらって お互いの遊び
を教え合うことができた。

○「自分たちのことを忘れないで欲しい。」「遠くから来て頑張っている
研修生に何かあげたい」という気持ち→有志が「プレゼント計画」

有志が交流活動後にプレゼントを渡す計画

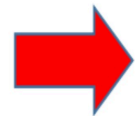


ザンビアからのオフィサーを迎える

(2024年3月)

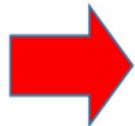
- これまでの交流を踏まえて何をするか、考えてみた。

担当教師 : 日本の文化や教育制度を知ってもらいたい



給食と一緒に食べてもらおう

担任教師 : これまで総合的な学習の時間や社会科で学習してきたことを発表してはどうだろうか
児童



松掛神楽・CM作成

① 日本の給食体験



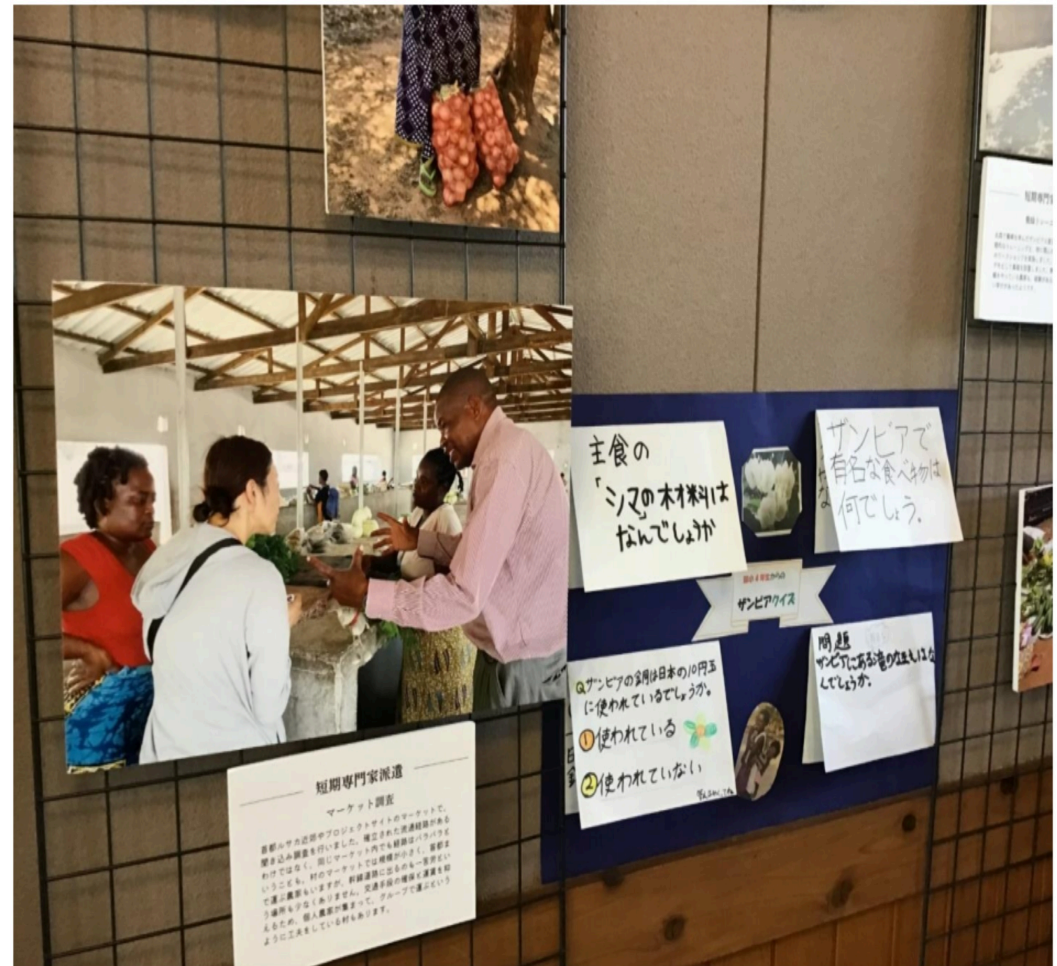
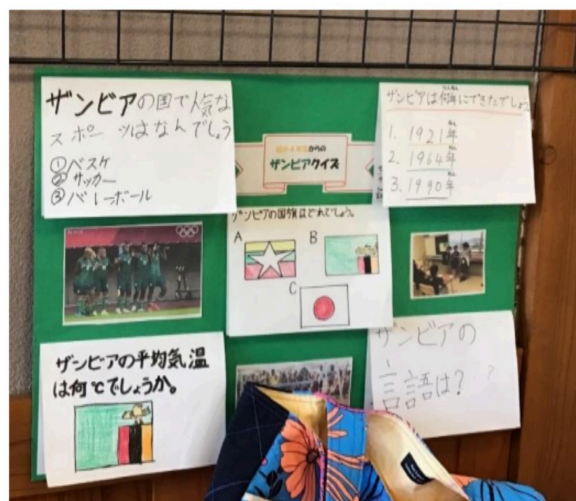
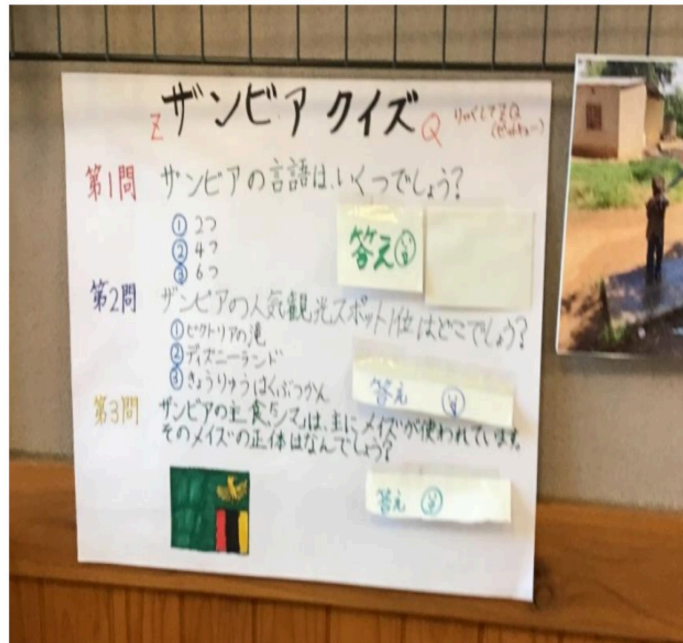
③ CM披露



②神楽の披露と体験

神楽のお返しにザンビアの踊りを教えてもらおう

4年生がザンビアフェスティバルに協力



クイズを通してザンビアのことを知ってもらおう

交流活動の成果

【児童】

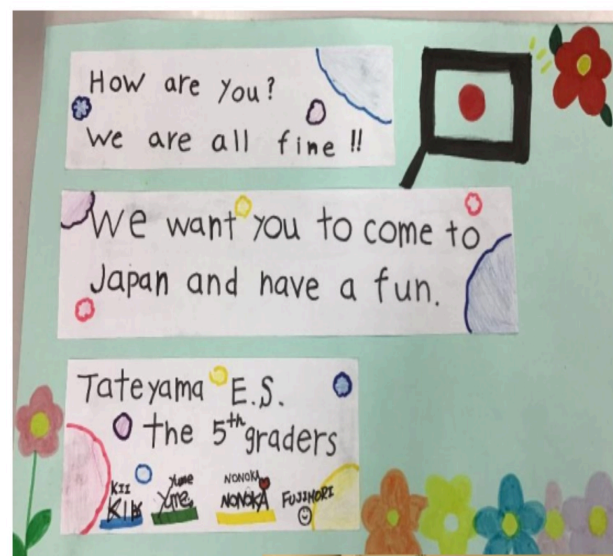
- 不安や緊張はあるものの興味・関心を持って接することができた。
- 英語が外国人とつながるツールであることを体験して理解できた。
- 翻訳アプリなどを用いて、教師に頼らず自分たちの力でカードを作成する児童がでてきた。

【教師】

- 既習事項を生かした発表内容や活動などを行うことで、負担感の少ない活動を生み出すことができた。
- 丸森小学校でも行うことができた。
- 丸森町在住の外国人に対する関心が高まった。

成果番外編

「宮原さんがザンビアに行くんだって。」



交流活動の課題

- ザンビアからの研修生が来ない場合の交流活動は？



- 「学校で」「クラスの**全員が**」という活動からの脱却
- オンラインやビデオのやり取りなど、**対面に代わる方法**
- **身近にいる外国人**技能実習生などに「防災」や「丸森の良さ」を伝える活動
 - 英語力、「具体的に分かりやすい日本語力」の向上

4 今後に向けて・・・

「なぜザンビア？」に戻ってみる

1 交流・・・種は蒔いた→今後は個人レベルで

- ・つながった人と継続的に交流

- (1) カードやビデオでのつながり

- (2) ザンビアフェスティバルへの参加

- (3) 学区内のザンビア関係者からの情報提供

2 英語学習の長期的な意義

台湾のペンパル姉妹校（新北市林口区頭湖小学校）との交流

① 提携式にて校章付きグッズの交換（校長）

② 写真付き台湾紹介カード（頭湖小） ⇄
写真付き自己紹介カード（館矢間小）

③ カルチャーボックスの交換（頭湖小） ⇄ （館矢間小）

台湾の観光地図・漢字練習帳
連絡帳・絵葉書
全校児童分の飴など

学校の紹介文・防災情報の紹介
日本や丸森のグッズ

3 外国から来た人と仲良く暮らす必要性

町内在住の外国人（ベトナム・インドネシア・フィリピン）との交流学習の推進

（１）児童が学んだ防災知識の伝達

- ① 調べ学習・「読む」を超えた双方向の伝え方
- ② とともに丸森に住む者同士、「命を守る」ための時間の設定

（２）児童とともに学ぶ「日本語学習」の実践

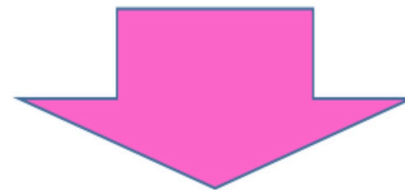
- ① 低学年児童や外国人に通じる「相手意識」をもった話し方
- ② 日本語での遊びの工夫

（３）心の垣根を低くし、互いに学び合う心の育成

- ① スポーツ交流
- ② 校内・町内の行事への招待・参加など

最 後 に

★町や学校の取組みや成果を共有することで「みんなが住みよい町」にできることを願って、一日一日を積み重ねていきたいと思います。



ザンビア交流のきっかけを下さった宮原様、サポートを
して下さった高島様、耕野振興会の皆様、そしてザンビア
からの研修生の皆様、ありがとうございました。